

沖縄ブロック協議会 事業計画

責任世代の燈火による「勇壮なる沖縄」の創造

沖縄ブロック協議会 会長 仲嶺 司

祖国復帰から40年を経た沖縄の姿は思い描いた理想とは程遠く、多くの問題を抱え経済発展の停滞と所得問題が重なり今なお混迷を極めています。県民も問題解決に向けた行動を起こしているにもかかわらず現状が変化することはありません。沖縄県は、これ以上先送りできない問題に対して自立型経済の発展に向けた地域資源の創出と地域のリーダーとなる人材を育成し、責任世代の燈火による「勇壮なる沖縄」を創造する必要があります。

まずは、政策本位による政治選択が浸透するために、公開討論会の開催とe-みらせんの推進を行い有権者として県民が自らの責任を果たす意識を高めます。そして、日本国憲法に対して国民が主権者として権利と義務を自覚するために、憲法タウンミーティングを開催します。また、広域災害に対して公的機関のマニュアルを把握し、企業や他団体との連携方法と相互の役割が確認できるJC災害ネットワークを構築し有事の際には迅速に支援活動を行います。さらに、我々の運動がより大きな力を発揮するために、会員会議所へ有機的な会員拡大ツールを発信し、また自らの経験を熱く語ることにより会員増強に取り組みます。そして、会員の資質と運動への意欲を向上させるために、アカデミー事業を行い責任世代の燈火となる地域のリーダーを育成します。また、経済発展の停滞と苦境に立つ地域企業の未来像を描くために、県民参加型の経済フォーラムを開催し沖縄の未来を県民とともに創造します。さらに、ブロック大会では地域資源の魅力を発信するために、歴史や文化の調査を行い、地域資源を発掘し「地域のたから」を創出する大会を開催します。

全てとの「つながり」と真摯に向き合ったJAYCEEが地域を照らす責任世代の燈火となることで自立型経済を創造し、故郷の人々に磨かれた「地域のたから」が地域再生の原動力となり、所得問題を解決する契機を創出することで「勇壮なる沖縄」を創造します。

<事業計画>

1. 政策本位による政治選択が浸透する事業の開催または支援
2. 国民参加型による憲法に関する事業の開催
3. 広域災害に対しても機能するJC災害ネットワークの構築
4. 会員拡大の推進
5. ブロックアカデミーの実施
6. 県民参加型による経済に関する事業の開催
7. 2013年度ブロック大会の開催

年間事業フレーム

沖縄地区

沖縄ブロック協議会

仲嶺 司

全国大会（北九州）

世界会議（台北）

京都会議（京都）

復興創造フォーラム（宮城）

ASPAC（光州）

サマロン（横浜）

全国大会（奈良）

世界会議（リオ・デ・ジャネイロ）

運動・事業名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
政策本位による政治選択が浸透する事業の開催または支援	引継・調査・事業企画・立案・上程				宮古島市実施	浦添市実施	報告準備		うるま市実施	報告準備	報告	地区との連携			引継	
国民参加型による憲法に関する事業の開催	調査研究・現状把握				企画	立案	開催準備	実施	報告準備	報告	地区との連携		検証	引継		
広域災害に対しても機能するJC災害ネットワークの構築	調査研究・現状把握				行政・企業・他団体との連携調査			企画	立案	準備期間		実施		検証	引継	
会員拡大の推進	引継・調査研究・現状把握				情報提供・LOM支援					中間報告	情報提供・LOM支援					引継
ブロックアカデミーの実施	引継・事業企画・立案				オリエンテーション	開校式	「責任世代の燈火となる」人材育成事業実施			中間報告	「勇壮なるJAYCEE」人材育成事業実施			閉校式	引継	
県民参加型による経済に関する事業の開催	調査研究・現状把握				企画		立案	準備期間	告知期間	実施	政策提言準備	政策提言	検証	引継		
2013年度ブロック大会の開催	調査研究	宮古ブロック大会	理念・スローガン決定・企画・立案・上程		大会主管協定締結	事業企画・立案・上程・会員会議所へPR			ブロック大会開催	大会の検証・報告			引継			